

付帯設備について

▶ 主な付帯設備について、各設備の概要を参考に、計画への記載事項を検討します。

1. 有害鳥獣処理施設

(1) 検討経緯

▶ 新ごみ処理施設の整備に併せて、有害鳥獣処理施設の導入検討について兵庫県猟友会神崎支部及び各町猟友会から要望が寄せられたことから、本委員会での検討事項としました。

(2) 現状

▶ 猟友会神崎支部によると、神崎郡 3 町におけるシカ・イノシシの捕獲数は年間約 1,200 頭（うち処理対象数 530 頭）で、それにロードキル等による死骸を加えると、530 頭+ α /年程度の処理が必要とのことです。シカの処理加工施設は姫路市夢前町にありますが、遠距離のため積み合わせて運搬しないと経済的に成り立たないため、生態系に影響しない範囲で埋設処理をしているのが現状です。また、捕獲従事者の高齢化や減少等により、埋設作業が大きな課題になっており、活動に支障をきたしています。

過去 3 年度分（H30～R2）のシカ・イノシシの平均捕獲数				
町	有害駆除 （狩猟期間以外）		狩猟期間 （11/15～3/15）	合計
	シカ	イノシシ	シカ	
市川町	114	79	107	300
福崎町	58	62	136	256
神河町	211	67	385	663
3 町計	383	208	628	1,219
処理対象数	322	208	—	530

(3) 設備の概要（想定）

- ▶ 捕獲された有害鳥獣（シカ・イノシシ等の農作物に被害を与える動物）の受入・処理を行う施設として、他市事例では焼却処理方式と減容化処理（+焼却方式）があります。
- ▶ 焼却処理方式は、焼却によって焼却処理する方法です。減容化処理方式は、木材チップと微生物を使用して作製した菌床に捕獲された鳥獣を投入し、微生物の働きにより分解処理を行った後に焼却する方法です。
- ▶ その他、獣肉を保管する冷蔵、冷凍庫や破砕機を備える場合があります。



環境省福島地方環境事務所廃棄物処理施設運営管理室パンフレット

(4) 他市事例

- 七尾市：焼却処理方式 500 kg/日 89.36 m³
- 藤枝市：減容処理方式 160 kg/日（イノシシ 1日 2~3 頭程度）105 m³



左：有害鳥獣処理施設（七尾市） 右：有害鳥獣処理装置（藤枝市）

(5) 処理方法（想定）

- 焼却方式：施設内に冷凍保管庫を設置し、冷凍した個体を粗大ごみ用の破砕機で小片に切断し、家庭ごみ等と共に混焼処理する。（捕獲個体をそのまま投入すると、燃え残りが発生する可能性があるため、捕獲個体を事前に切断する必要があります。）
- 減容化処理方式：施設内に冷凍保管庫を設置し、冷凍した個体を粗大ごみ用の破砕機で小片に切断し、減容化処理装置で減容化した後に家庭ごみ等と共に混焼処理する。
- 処理能力：年間 600 頭程度を年間 280 日程度で処理すると仮定すると、概ね藤枝市と同等の施設規模（160 kg/日）が必要と考えられます。

(6) 導入有無の検討

- 委員会内で検討する必要があります。

2. 電子掲示板

(1) 設備の概要

- ▶ 排ガス測定値、ごみ焼却量等のデータを表示する設備です。



左：武蔵野クリーンセンター 右：中播北部クリーンセンター

(2) 計画への記載事項案

- ▶ 最新の自動計測値を常時表示すること。（表示項目案：ばいじん、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、燃焼温度、ダイオキシン類）※ダイオキシン類については、直近の測定値

3. 雨水利用設備

(1) 設備の概要

- ▶ 雨水貯留槽：雨水を溜めておくタンクで、様々な形状、容量のものがあります。
- ▶ ポンプ等：雨水貯留槽から水を汲み上げる装置等です。
- ▶ 濾過装置・殺菌装置：用途によっては濾過や殺菌処理が必要となります。
- ▶ 雨水をトイレに使用し下水道へ排水する際には市町村等への届け出が必須となります。

(2) 計画への記載事項案

- ▶ 雨水はごみ処理施設内に貯留し、環境学習及び避難所機能の一環（非常時の雑用水、プラットホーム床洗浄、洗車場、施設内の樹木への散水等）として、利用できるようにすること。



雨水貯留槽（相模原市環境情報センター）

4. 太陽光の利用設備（採光、発電）

(1) 設備の概要

- ▶ 採光窓：主に天井に設けられる採光用の窓です。
- ▶ 太陽光発電（環境学習用）：太陽電池モジュールや発電量を表示する装置を活用して発電の仕組みや原理等について学ぶことができる設備です。



左：採光窓の例 右：太陽光モジュールの活用例（学校への太陽光発電導入ハンドブック）

(2) 計画への記載事項案

- ▶ 環境学習及び避難所機能（携帯電話の充電等）として利用できるようにすること。



太陽電池モジュールの近くに電気を取り出すことのできるコンセントが設置されている。

太陽光発電の活用例（学校への太陽光発電導入ハンドブック）

5. 省エネ関連設備

(1) 計画への記載事項案

- ▶ 省エネルギーのため、自然光を十分に採り入れる構造とするとともに、省エネルギー効果が高い機器や、LED、エコケーブル、人感センサー等を使用すること。
- ▶ 外壁に面する部屋の壁等には断熱材等を適切に採用し、空調等における省エネルギー化を図ること。また、換気方式は可能な限り自然吸気・自然排気方式を採用し、空調等における省エネルギー化を図ること。